

ふるさと学習の推進 ～おらほの学校の取組から広がる地域に生きる学びの推進～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
飯山市立 東小学校	東小学校学校運営協議会 平成25年4月1日 指定	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 2名 2名	東小学校学校運営協議会



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校校区には国の重要文化的景観である小菅地区や日本の棚田百選に認定された福島地区の棚田など歴史的・文化的な意味をもつ地域材が豊富にある。児童数が減少し、この材を未来につなぐためにも、地域に生きる子どもたち自身がこの魅力に気付く必要がある。この実現のためには、学校教育の枠を広げ、地域コミュニティの力を存分に生かしながら取り組んでいくことが有効であると考え、本校が願う児童の姿「美しい故郷を自分の心として育つ児童」の実現のため取り組んでいる。

目標や目指す姿(学校)

豊かな心を持ち、たくましく生きる

目標や目指す姿(地域)

美しい故郷を自分の心として育つ児童



東小学校学校運営協議会

の特徴

委員の立場や属性等

- 保護者・PTA関係者
- 地区代表者(区長会長)
- 地域有識者(市議会議員)
- 地域有識者(地元企業関係者)
- 地域有識者(地域産業従事者) など、計 **15**名で構成
- 学識経験者(保育園長) 年間平均 **6**回程度開催

効果的な運営の工夫

年間6回の開催について、毎回次回の学校運営協議会での協議内容を配付して終了するようにしたことにより、話し合いのポイントを事前に共有するようになった。また、「コロナ禍」でも「コロナ可」となるような活動を考え、オンラインでの地域協働学び合いの場となる「育てる会」をオンラインで開催した。地域に広く本校のコミュニティ・スクールの取組を知ってもらうために、「東小コミュニティスクール新聞」や「ボランティア募集」チラシを作成し、回覧板や公民館内に掲示を依頼し、周知を図った。委員の連絡手段をメール中心にし、迅速に連絡が取れるようにした。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

年度当初からの3回で、育てる会のテーマづくりや講師の選定、活動内容や方法の協議を具体的に行っている。また、第1回開催時に、協議会長から育てる会の活動の経緯や意義等について説明され、今年度より参加する委員も、意見を言いやすくなり、より具体的な意見交換ができる雰囲気となっている。



育てる会に関する協議

地域学校協働活動

毎年、「地域の子どもは地域が育てる」を合言葉に「育てる会」を企画・運営した。全校児童のほとんどがオンラインで自宅から参加し、ふるさと学習(地域の講師による小菅地区の神事ファシリテーションや児童が考えた東小検定の問題)に取り組んだ。



オンラインでの「育てる会」

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

育てる会の開催にあたっては、その趣旨や活動内容を年度ごとに更新し議論を交わし、前年度までの実績を踏まえ、前年度踏襲のみとならないよう、その年の地域の話題を委員の意見を聞きながら議論を進めている。今年度は地域の文化的意義のある神事が執り行われるということであったので、地域支援者の選定や運営などの一切を学校運営協議会で検討し、「コロナ禍でもコロナ可」となるような活動を企画・運営してきた。身近な地域を題材とすることにより、学校単体ではない情報網の強みが生かされ、様々な視点からご意見をいただいている。育てる会の会長をPTA会長が兼務し、学校運営協議会はそれを支える立場となって位置づけることにより、会の運営にあたり、互いの立場が明確になるような組織となっている。

取組

成果・効果

- ◆地域学校協働活動である「育てる会」は地域・PTAが共催して活動する取組として、毎年開催内容や開催方法を更新しながらの活動となっている。また、児童・保護者がこの活動に参加しやすい日時にするために全校参観日当日の夕方からの開催としたことにより、高い参加率で開催することができた。ここで得られた知識は保護者・児童の高い関心を集め、小菅地区の歴史的行事「柱松柴燈神事」では、学んだことを実際に目で見て確かめることができた。総合的な学習の時間に取り組んでいる学年では、その後奥社見学にも広げて、地域をより深く広く学ぶ契機となっていた。
- ◆本校校区内は児童数の減少に伴い、学校との接点が少なくなりがちな家庭も増えている。このような状況において、児童が地域に出向き、地域を知る活動を積極的に推進したことは、学校を開く意味でも有効であった。育てる会での児童によるクイズは大人も子どもも楽しみながら地域を学ぶ機会となった。その様子を様々なメディアでも伝えてもらったことはありがたく、学校広報のあり方についても見直すきっかけとなった。
- ◆学校運営協議会の活動と併せて、育てる会の記事を載せた「東小コミュニティスクール新聞」を発行したことにより、地域への発信もより具体性をもってできた。